

## 環境自主行動計画

---

平成 23 年 1 月 1 日

日本ラッド株式会社

### ■ 1. 基本理念

当社は、企業の公共性・公益性の観点から、自らの製品の企画開発や企業活動を環境に配慮したものとし、環境負荷の少ない社会の実現に貢献していくことを目標として、以下の計画に基づいて行動してまいります。

### ■ 2. 当社のエネルギー消費量抑制への取り組みと今後の推移予測

当社は、環境負荷の低減を目的として、平成 22 年 10 月に全国に先駆けて国内初となる完全外気冷却式(特許申請中)の新型データセンターを東京都内に開設いたしました。これにより、世界でも有数のエネルギー効率を誇る低消費電力型データセンターが実現し、すでに稼働を開始しています。今後、当社では事業規模の拡大に伴い使用する情報処理機器が増加見込みのため、それに伴いエネルギー消費量も増加傾向にありますが、当社の新型データセンターは規模が大きくなるほどエネルギー効率が向上する性質のため、単位設備能力あたりの消費電力量は低下する見込みです。

### ■ 3. 行動計画

当社はこれまでもエネルギー消費量の抑制に向けての取り組みを行ってきましたが、今後もさらなる環境負荷の低減を目指し、下記行動計画に基づき行動してまいります。

#### ■ エネルギー消費量の抑制

環境負荷の低減につながるように、電力・ガソリン・ガス等のエネルギー資源利用の節減に努めます。

具体的な例

- ◇ 節電、休憩時間の消灯、冷暖房の温度設定見直しなどの身近なエネルギー節減
- ◇ より節電効果のある電気器具等の優先的な採用（省電力型サーバや、白熱球から蛍光灯や LED ライト等への転換等）
- ◇ 自動車(タクシー等を含む)の利用の抑制と公共交通機関の活用

#### ■ 省資源・廃棄物対策の推進

情報の電子化を推進し、紙資源使用の削減に努めます。また、ゴミの分別収集を徹底し、廃棄物のリサイクル率向上に努めます。

具体的な例

- ◇ 情報の電子化によるプリンタ用紙の削減
- ◇ 両面コピー、裏紙活用によるコピー用紙の削減
- ◇ ゴミの分別収集の徹底
- ◇ リサイクル製品の優先的な採用(リサイクル用紙の活用など)

#### ■ 4. 企業活動を通じた啓発活動

ホームページ等で環境問題等に関する情報や当社の取り組みを顧客に広く提供し、環境問題に対する認識を広めるとともに、環境負荷の低減への関心を高めることに努めます。

具体的な例

- ◇ 当社ホームページ等での環境負荷の低減に関する取り組みの紹介
- ◇ 環境問題への取り組みに関する業界イベント等に積極的に参加
- ◇ 子会社のCS放送局(株式会社シアター・テレビジョン)を通じた環境問題に関する番組の制作・放映

#### ■ 5. 数値目標

当社は、「ICT分野におけるエコロジーガイドライン」に準じ、下記の目標を設定し、必要な措置を講じます。

2015年度の当社企業活動に関わる有形固定資産額あたりのCO<sub>2</sub>消費原単位について、2010年度比10%削減を目指します。

以上